

分子代謝学セミナー

Molecular Metabolism seminar

2単位 (選択) 1年(通年), 2年(通年)

宮本 賢一・教授 / 人間栄養科学専攻, 瀬川 博子・講師 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

辰巳 佐和子・助教 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】 疾患予防について、栄養及び薬物との相互作用を理解する。

【授業概要】 栄養素のもつ生体内情報、及び薬物と栄養の相互作用などを中心に、疾患予防の観点より、栄養素材の重要性について学習する。さらに、栄養素の細胞内情報について、最新の研究論文を抄読し、各自の研究目的、研究方法、結果について学習し、研究の具体的な問題点について議論する。

【授業方法】 [授業方法]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 講義においてプリントを配布するが、プロジェクターなどを使用して説明も行う。ノートの取り方を工夫すること。

【到達目標】 [目標]

【授業計画】

1. ビタミン・ミネラルなどを中心に、栄養素としての研究の歴史や、これらの発見に至る過程を学習し、最新の栄養学分野におけるトピックスについて教育する。(担当者: 宮本教授)

【成績評価】 出席状況, 受講態度, レポートなどにより判断する。

【再試験】 行わない。

【教科書】 [教科書]

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217634>

【連絡先】

- ⇒ 宮本 (分子栄養学分野, 088-633-7081, miyamoto@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ 瀬川 (088-633-7082, segawa@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ 辰巳 .

Molecular Metabolism seminar

2 units (selection) 1st-year(whole year), 2nd-year(whole year)

Ken-ichi Miyamoto · PROFESSOR / 人間栄養科学専攻, Hiroko Segawa · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES, Sawako Tatsumi · ASSISTANT PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES

Target) 疾患予防について、栄養及び薬物との相互作用を理解する。

Outline) 栄養素のもつ生体内情報、及び薬物と栄養の相互作用などを中心に、疾患予防の観点より、栄養素材の重要性について学習する。さらに、栄養素の細胞内情報について、最新の研究論文を抄読し、各自の研究目的、研究方法、結果について学習し、研究の具体的な問題点について議論する。

Manner) [授業方法]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 講義においてプリントを配布するが、プロジェクターなどを使用して説明も行う。ノートの取り方を工夫すること。

Goal) [目標]

Schedule)

1. ビタミン・ミネラルなどを中心に、栄養素としての研究の歴史や、これらの発見に至る過程を学習し、最新の栄養学分野におけるトピックスについて教育する。(担当者: 宮本教授)

Evaluation Criteria) 出席状況、受講態度、レポートなどにより判断する。

Re-evaluation) 行わない。

Textbook) [教科書]

Reference) [参考資料]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217634>

Contact)

- ⇒ Miyamoto (Molecular Nutrition, +81-88-633-7081, miyamoto@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ Segawa (+81-88-633-7082, segawa@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ Tatsumi .